



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月8日

上場会社名 小田急電鉄株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9007 URL <http://www.odakyu.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山木 利満 (TEL) 03 (3349) 2526
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 端山 貴史 配当支払開始予定日 —
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	382,991	2.2	38,579	25.4	33,191	36.1	22,362	57.3
24年3月期第3四半期	374,697	△2.6	30,755	△6.2	24,385	△2.2	14,219	△8.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 25,499百万円 (108.8%) 24年3月期第3四半期 12,209百万円 (10.6%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第3四半期	30	98	—	—
24年3月期第3四半期	19	70	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
25年3月期第3四半期	1,301,512		241,406		18.3	
24年3月期	1,311,185		221,603		16.7	

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 238,328百万円 24年3月期 218,813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	—	3	00	—	—	4	00	7	00
25年3月期	—	—	3	50	—	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	4	00	7	50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	518,000	1.9	43,200	11.8	33,700	17.6	19,500	9.3	27	02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期3Q	736,995,435株	24年3月期	736,995,435株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	15,348,259株	24年3月期	15,192,333株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期3Q	721,732,844株	24年3月期3Q	721,871,178株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しております。従って、実際の業績は業況の変化などにより記載の予想とは異なる場合があります。

業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9
4. 補足情報	10
(参考) 鉄道事業運輸成績（個別）	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）のわが国経済は、企業収益が改善傾向にある中で民間設備投資が底堅く推移したものの、個人消費が弱い動きで推移するなど、その先行きについては依然として不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社グループでは各事業にわたり積極的な営業活動を行ったことに加え、前年度の上半期を中心に東日本大震災による影響を受けたことの反動などから、営業収益は3,829億9千1百万円と、前年同期に比べ82億9千4百万円の増加（前年同期比2.2%増）となりました。また、営業利益は385億7千9百万円と、前年同期に比べ78億2千4百万円の増加（前年同期比25.4%増）となったほか、経常利益は331億9千1百万円と、前年同期に比べ88億6百万円の増加（前年同期比36.1%増）となりました。これに伴い、四半期純利益は223億6千2百万円と、前年同期に比べ81億4千3百万円の増加（前年同期比57.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 運輸業

運輸業では、前年度に受けた東日本大震災による影響の反動に加え、鉄道事業において平成24年3月に実施したダイヤ改正などにより定期外収入が増収となったほか、定期収入も堅調に推移したことから、営業収益は1,282億5千6百万円と、前年同期に比べ40億2千2百万円の増加（前年同期比3.2%増）となりました。また、営業利益につきましても、253億円と、前年同期に比べ33億2百万円の増加（前年同期比15.0%増）となりました。

(業種別営業成績表)

業種別	当第3四半期連結累計期間 (24. 4. 1～24. 12. 31)	
	営業収益（百万円）	対前年同期増減率（%）
鉄道事業	96,104	3.9
自動車運送事業	29,202	△0.4
タクシー事業	2,225	△1.1
航路事業	1,393	15.1
索道業	1,425	11.1
その他運輸業	770	4.6
消去	△2,865	—
営業収益計	128,256	3.2

② 流通業

流通業では、百貨店業やストア業等において個人消費に弱い動きがみられたものの、前年度に受けた東日本大震災による影響の反動などから、営業収益は1,666億5千4百万円と、前年同期に比べ9億6千3百万円の増加（前年同期比0.6%増）となりました。また、営業利益につきましても、28億1千5百万円と、前年同期に比べ2億6千9百万円の増加（前年同期比10.6%増）となりました。

(業種別営業成績表)

業種別		当第3四半期連結累計期間 (24. 4. 1～24. 12. 31)	
		営業収益 (百万円)	対前年同期増減率 (%)
百貨店業	小田急百貨店新宿店	65,510	1.9
	小田急百貨店町田店	30,863	0.3
	小田急百貨店藤沢店	11,159	△0.5
	その他	5,555	0.1
	計	113,089	1.1
ストア業等		59,070	△2.1
消去		△5,505	—
営業収益計		166,654	0.6

③ 不動産業

不動産業では、賃貸業においてオフィスビルの賃貸収入が増収となったことなどから、営業収益は419億8百万円と、前年同期に比べ4千6百万円の増加（前年同期比0.1%増）となりました。また、営業利益につきましても、賃貸業においてオフィスビルの稼働率改善に加え、前年同期に「新宿スバルビル」の取得に伴う費用を計上した反動などにより79億2千7百万円と、前年同期に比べ23億2千8百万円の増加（前年同期比41.6%増）となりました。

(業種別営業成績表)

業種別		当第3四半期連結累計期間 (24. 4. 1～24. 12. 31)	
		営業収益 (百万円)	対前年同期増減率 (%)
不動産分譲業		15,382	9.1
不動産賃貸業		30,626	2.4
その他		232	△74.0
消去		△4,332	—
営業収益計		41,908	0.1

④ その他の事業

その他の事業では、客室稼働率が堅調に推移したホテル業において増収となったほか、レストラン飲食業や旅行業においても増収となりました。その結果、営業収益は703億6百万円と、前年同期に比べ38億7千1百万円の増加（前年同期比5.8%増）となりました。また、営業利益につきましても、24億1百万円と、前年同期と比べ19億3千9百万円の増加（前年同期比419.9%増）となりました。

(業種別営業成績表)

業種別		当第3四半期連結累計期間 (24. 4. 1～24. 12. 31)	
		営業収益 (百万円)	対前年同期増減率 (%)
ホテル業	ハイアット リージェンシー 東京	7,596	9.0
	ホテルセンチュリー静岡	2,290	0.3
	小田急ホテルセンチュリー サザンタワー	2,273	15.9
	その他	6,370	4.9
	計	18,531	7.2
レストラン飲食業		15,249	1.9
旅行業		4,983	10.4
ビル管理・メンテナンス業		14,124	1.8
その他		20,553	8.1
消去		△3,134	—
営業収益計		70,306	5.8

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1兆3,015億1千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ96億7千2百万円減少いたしました。これは、主に固定資産における減価償却が進んだことなどによるものであります。また、負債の部は1兆601億5百万円となり、前連結会計年度末と比べ、294億7千5百万円減少いたしました。これは、主に借入金の返済などによるものであります。

純資産の部は、2,414億6百万円となり、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことなどから、前連結会計年度末と比べ198億3百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間までの業績等を踏まえ、前回発表時（平成24年10月30日）の予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

当該変更に伴う損益に与える影響は、軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,994	17,839
受取手形及び売掛金	19,603	22,276
有価証券	10	10
商品及び製品	11,014	12,252
分譲土地建物	37,224	35,326
仕掛品	451	1,005
原材料及び貯蔵品	1,649	1,868
その他	30,883	34,112
貸倒引当金	△227	△265
流動資産合計	131,603	124,425
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	462,559	450,319
機械装置及び運搬具（純額）	60,303	55,319
土地	422,584	424,133
建設仮勘定	136,413	148,730
その他（純額）	10,994	9,867
有形固定資産合計	1,092,855	1,088,370
無形固定資産		
のれん	857	112
その他	13,182	11,916
無形固定資産合計	14,040	12,028
投資その他の資産		
投資有価証券	47,558	52,375
その他	25,875	25,042
貸倒引当金	△748	△730
投資その他の資産合計	72,685	76,688
固定資産合計	1,179,581	1,177,086
資産合計	1,311,185	1,301,512

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,202	26,644
短期借入金	223,395	189,999
1年以内償還社債	45,000	70,000
未払法人税等	10,766	5,385
前受金	46,584	54,324
賞与引当金	7,210	4,441
商品券等引換引当金	727	734
その他の引当金	74	46
資産除去債務	17	1
その他	83,097	80,218
流動負債合計	443,075	431,794
固定負債		
社債	195,000	165,000
長期借入金	224,482	240,160
鉄道・運輸機構長期未払金	97,768	93,293
退職給付引当金	24,495	23,587
資産除去債務	1,329	1,330
受託工事長期前受金	33,382	38,404
その他	55,946	55,959
固定負債合計	632,405	617,735
特別法上の準備金		
特定都市鉄道整備準備金	14,100	10,575
特別法上の準備金合計	14,100	10,575
負債合計	1,089,581	1,060,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	60,359	60,359
資本剰余金	58,555	58,548
利益剰余金	97,672	114,593
自己株式	△9,752	△9,849
株主資本合計	206,834	223,652
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,568	15,265
土地再評価差額金	△589	△589
その他の包括利益累計額合計	11,978	14,675
少数株主持分	2,789	3,078
純資産合計	221,603	241,406
負債純資産合計	1,311,185	1,301,512

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業収益	374,697	382,991
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	281,513	282,492
販売費及び一般管理費	62,428	61,918
営業費合計	343,942	344,411
営業利益	30,755	38,579
営業外収益		
受取利息	14	16
受取配当金	1,038	1,043
持分法による投資利益	635	1,242
雑収入	1,340	1,240
営業外収益合計	3,029	3,542
営業外費用		
支払利息	8,430	7,653
雑支出	968	1,276
営業外費用合計	9,399	8,930
経常利益	24,385	33,191
特別利益		
固定資産売却益	481	29
工事負担金等受入額	30	56
特定都市鉄道整備準備金取崩額	3,525	3,525
その他	820	261
特別利益合計	4,856	3,872
特別損失		
固定資産売却損	27	186
固定資産圧縮損	816	91
固定資産除却損	1,232	951
投資有価証券評価損	148	164
減損損失	445	—
その他	547	75
特別損失合計	3,218	1,468
税金等調整前四半期純利益	26,023	35,595
法人税、住民税及び事業税	9,404	11,084
法人税等調整額	2,522	1,709
法人税等合計	11,926	12,794
少数株主損益調整前四半期純利益	14,096	22,801
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△122	438
四半期純利益	14,219	22,362

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14,096	22,801
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,927	2,682
土地再評価差額金	150	—
持分法適用会社に対する持分相当額	△109	15
その他の包括利益合計	△1,886	2,697
四半期包括利益	12,209	25,499
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,341	25,059
少数株主に係る四半期包括利益	△131	439

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
営業収益							
外部顧客への営業収益	122,116	163,815	37,157	51,607	374,697	—	374,697
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	2,117	1,876	4,705	14,828	23,527	△23,527	—
計	124,234	165,691	41,862	66,435	398,224	△23,527	374,697
セグメント利益	21,997	2,546	5,599	461	30,605	149	30,755

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、以下の事業セグメントを含んでおります。

ホテル業、レストラン飲食業、旅行業、ゴルフ場業、鉄道メンテナンス業、自動車整備販売業、ビル管理・メンテナンス業、広告代理業、園芸・造園業、経理代行業、保険代理業及び介護・保育業

2 セグメント利益の調整額149百万円は、セグメント間取引消去161百万円及びのれん償却額△11百万円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
営業収益							
外部顧客への営業収益	125,864	164,895	37,902	54,329	382,991	—	382,991
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	2,392	1,759	4,006	15,977	24,136	△24,136	—
計	128,256	166,654	41,908	70,306	407,127	△24,136	382,991
セグメント利益	25,300	2,815	7,927	2,401	38,445	134	38,579

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、以下の事業セグメントを含んでおります。

ホテル業、レストラン飲食業、旅行業、ゴルフ場業、鉄道メンテナンス業、自動車整備販売業、ビル管理・メンテナンス業、広告代理業、園芸・造園業、経理代行業、保険代理業及び介護・保育業

2 セグメント利益の調整額134百万円は、セグメント間取引消去161百万円及びのれん償却額△27百万円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(参考) 鉄道事業運輸成績 (個別)

科 目	当第3四半期		前第3四半期		増減率
	自 至	平成24年4月1日 平成24年12月31日	自 至	平成23年4月1日 平成23年12月31日	
旅客運輸収入		百万円		百万円	%
定期		33,798		33,329	1.4
定期外		51,025		48,970	4.2
計		84,824		82,299	3.1
輸送人員		千人		千人	%
定期		337,987		332,728	1.6
定期外		210,228		205,095	2.5
計		548,215		537,823	1.9